

海老名市
公共施設のあり方に関する
市民アンケート

【調査結果集計報告】

令和4年10月

I 調査の概要

1. 調査の目的

「海老名市公共施設再編計画（適正化）」の策定にあたり、公共施設の利用実態や公共施設の今後のあり方に関する市民の意見を把握することを目的に実施したものである。

2. 調査の方法

- ①調査対象 海老名市に居住する 16 歳以上の市民
- ②対象者数 3,000 人
- ③抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- ④調査方法 郵送配布、郵送回収又はインターネットのどちらかを選択
- ⑤調査期間 郵送 : 令和 4 年 8 月 1 日から 8 月 15 日までに投函
WEB : 令和 4 年 8 月 1 日から 8 月 15 日 24 時まで

3. 調査項目

- ①ご自身のことについて
- ②公共施設の利用状況について
- ③今後の公共施設の在り方について

4. 回収結果

- ①対象者数 3,000 人
- ②有効回答者数 1,126 人
- ③有効回収率 37.5%

5. 報告書の見方

- ①集計について
 - ・図表中の (n=* (*は自然数)) と属性の後の () 内は、集計母数を表している。
 - ・回答割合 (%) は、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出している。そのため、回答割合の合計が 100.0%にならない場合がある。

単純集計

Ⅱ 調査結果

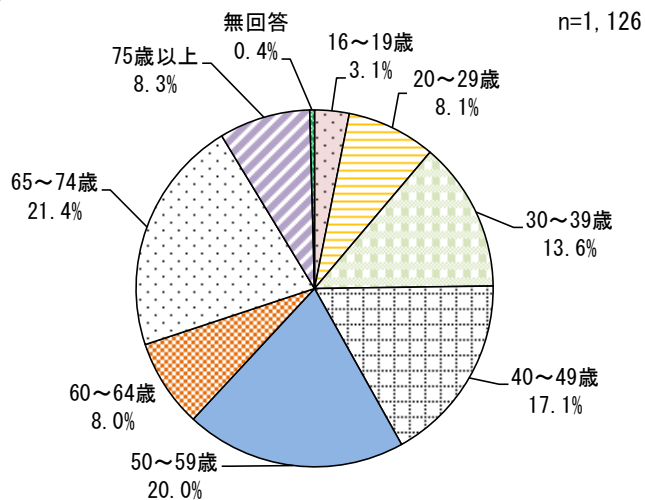
1. あなたのことについてお聞きします

Q1-1 あなたの年齢はお幾つですか。

【全体の回答傾向】

- ・回答者 1,126 人のうち、年齢については、「65～74 歳」が 21.4%と最も多く、次いで「50～59 歳」（20.0%）、「40 歳～49 歳」（17.1%）となっています。

Q1-1 年齢

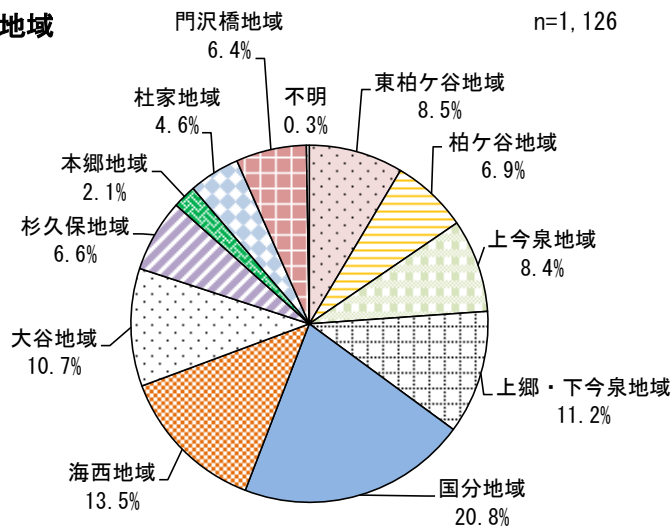


Q1-2 あなたがお住まいの場所は、どちらの地域になりますか。

【全体の回答傾向】

- ・居住地域については、「国分地域」が 20.8%と最も多く、次いで「海西地域」（13.5%）、「上郷・下今泉地域」（11.2%）となっています。

Q1-2 居住地域

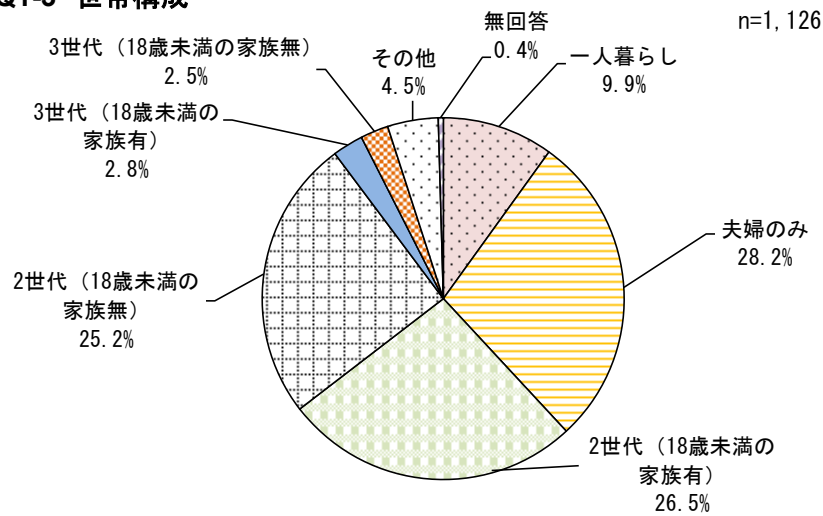


Q1-3 あなたの世帯は次のうちどれですか

【全体の回答傾向】

- ・世帯構成については、「夫婦のみ」が28.2%と最も多く、次いで「2世代（18歳未満の家族有）」（26.5%）、「2世代（18歳未満の家族無）」（25.2%）となっており、全体の約8割弱となっています。

Q1-3 世帯構成

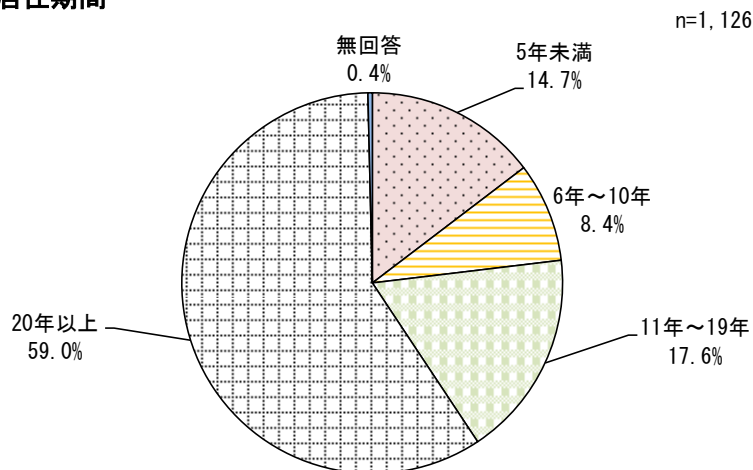


Q1-4 あなたは海老名市にどのくらいの期間、お住まいですか

【全体の回答傾向】

- ・海老名市の居住期間については、「20年以上」が59.0%と最も多く、次いで「11年～19年」（17.6%）、「5年未満」（14.7%）となっています。

Q1-4 居住期間



2. 公共施設の利用状況についてお伺いします

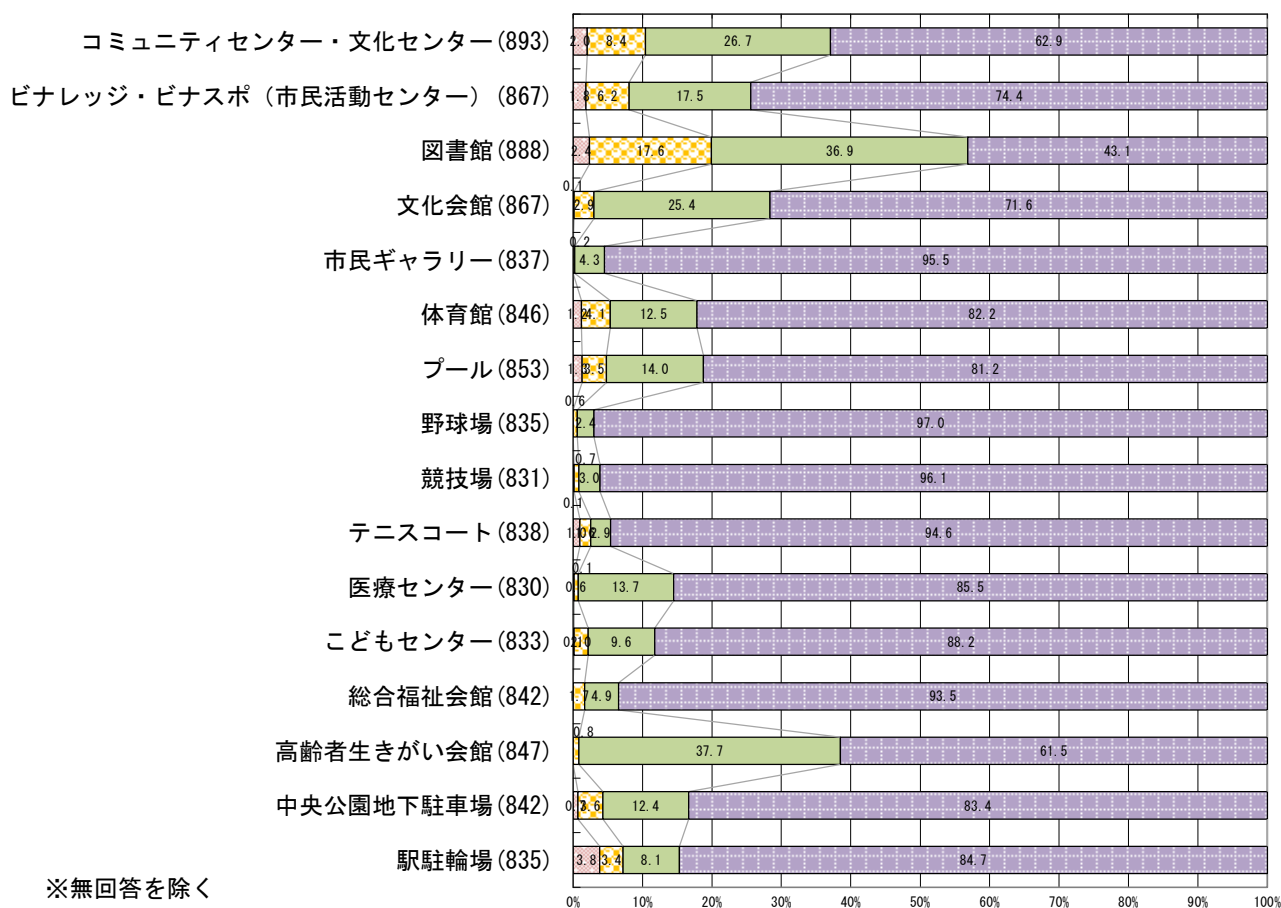
Q2-1 各施設の利用頻度はどのくらいですか。

【全体の回答傾向】

- ・各施設の利用頻度については、全般に「利用していない」の割合が大きくなっています。
- ・「年に数回」以上の利用について見ると、最も多い「図書館」で約6割となっていますが、他の施設分類では、比較的利用の多い「高齢者生きがい会館」及び「コミュニティセンター・文化センター」でも約4割弱程度、残る施設では1割～3割に留まっています。
- ・施設を利用しているとの回答の中でも、「ほぼ毎日～週に数回以上」と頻繁に利用する回答者は限られており、最も多い「図書館」で2.4%、「コミュニティセンター・文化センター」で2.0%となっていますが、他の施設では概ね2%未満に留まっており、「月に数回」の利用でも「図書館」の17.6%が最も多く、その他の施設は10%未満となっています。

Q2-1 公共施設の利用頻度

(①) (②) (③) (④)
 □ ほぼ毎日～週に数回 □ 月に数回 □ 年に数回 □ 利用していない



※無回答を除く

＜あなたが利用している施設（Q2-1 で①～③を選択した施設）について伺います＞

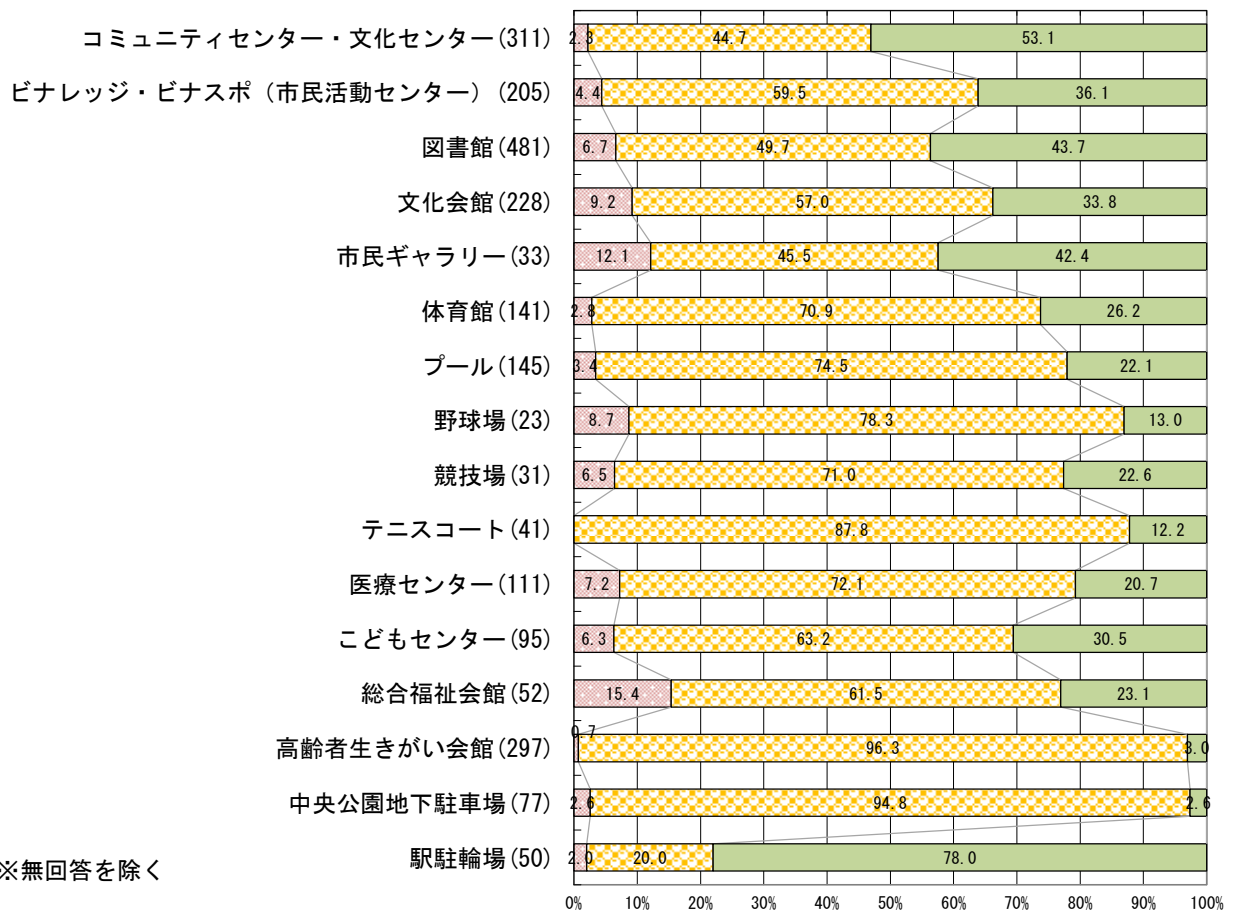
Q2-2 各施設を利用する際に主にどのような交通手段を利用していますか

【全体の回答傾向】

- ・各施設利用の交通手段については、「バスや電車などの公共交通機関」の利用が最も多いのが「総合福祉会館」で15.4%、次いで「市民ギャラリー」が12.1%で、その他の施設に関しては1割未満となっており、「テニスコート」においては、利用者が0%となっています。
- ・「自動車や二輪車」の利用者が最も多いのが「高齢者生きがい会館」で96.3%となっており、その他の施設はスポーツ関連の施設や「医療センター」が7割以上となっています。
- ・「徒歩や自転車」の利用者が最も多いのが「コミュニティセンター・文化センター」で53.1%となっており、反対に最も少ない施設が「高齢者生きがい会館」となっています。

※中央公園地下駐車場及び駅駐輪場は除く

Q2-2 施設利用の際の交通手段 □バスや電車などの公共交通機関 □自動車や二輪車 □徒歩や自転車



<あなたが利用している施設（Q2-1で①～③を選択した施設）について伺います>

Q2-3 各施設を“利用している”理由は何ですか。（複数回答）

【全体の回答傾向】

- ・各施設を利用している理由については、コミュニティセンター・文化センターなどの市民活動の場として機能する施設や、野球場、競技場などの特定の目的を持つ施設については、「目的とする活動の会場として指定されている」を1番目に挙げる回答が多くなっています。
- ・一方、図書館、医療センター、高齢者生きがい会館などは、「他に同種のサービスを提供している施設（民間含む）がない／知らない」が多い傾向にあります。
- ・全体的にみると、「他に同種のサービスを提供している施設（民間含む）がない／知らない」、「目的とする活動の会場として指定されている」、「家から行きやすい」等の理由が多い傾向になっています。

Q2-3 各施設を利用している理由〔複数回答〕

（単位：％）

	1位	2位	3位	※無回答は順位から除く						
	他に同種のサービスがない／知らない	目的とする活動の会場として指定されている	家から行きやすい	出かけたついでに行きやすい	附帯駐車場がある	料金等の費用負担が少ない	他の施設（民間含む）に比べてサービスの内容が良い	他の施設（民間含む）に比べて受付の対応が良い	他の施設（民間含む）に比べて建物や設備が良い	無回答
1 コミュニティセンター・文化センター(313)	11.2	61.7	39.0	4.8	18.8	27.5	3.5	4.5	6.1	5.8
2 ビナレッジ・ビナスポ（市民活動センター）(215)	9.8	50.7	31.6	5.1	23.3	31.2	7.9	4.2	14.0	3.3
3 図書館(482)	36.9	3.7	22.0	11.0	14.5	19.9	11.2	2.9	16.2	4.8
4 文化会館(231)	13.9	37.7	6.5	1.3	9.5	1.7	0.4	0.4	2.6	6.5
5 市民ギャラリー(31)	9.7	22.6	12.9	6.5	9.7	3.2	0.0	3.2	3.2	22.6
6 体育館(145)	14.5	22.8	26.2	3.4	22.1	17.2	1.4	2.8	3.4	4.1
7 プール(152)	17.1	7.9	28.3	1.3	21.1	21.1	5.3	2.0	2.0	5.3
8 野球場(23)	0.0	47.8	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	8.7
9 競技場(32)	15.6	43.8	12.5	0.0	12.5	3.1	3.1	0.0	0.0	0.0
10 テニスコート(43)	11.6	18.6	23.3	2.3	32.6	16.3	4.7	4.7	2.3	4.7
11 医療センター(113)	46.0	20.4	20.4	0.9	8.0	3.5	2.7	2.7	1.8	6.2
12 こどもセンター(93)	37.6	40.9	16.1	1.1	14.0	5.4	6.5	6.5	0.0	5.4
13 総合福祉会館(51)	15.7	39.2	5.9	0.0	9.8	9.8	5.9	5.9	0.0	7.8
14 高齢者生きがい会館(310)	58.4	17.1	11.0	1.3	2.9	12.9	3.9	5.2	0.6	5.2
15 中央公園地下駐車場(121)	5.8	3.3	9.9	21.5	5.8	19.0	5.0	1.7	3.3	15.7
16 駅駐輪場(116)	22.4	6.0	24.1	28.4	1.7	31.0	2.6	2.6	0.0	10.3

<利用していない（Q2-1で④を選択した）方について伺います。>

Q2-4 各施設を“利用していない”理由は何ですか。（複数回答）

【全体の回答傾向】

- ・各施設を利用していない理由については、全ての施設について「利用する用事がない」が最も多くなっており、その中でも「野球場」95.6%、「競技場」94.8%、「テニスコート」92.5%、「こどもセンター」95.0%となっており、これらの公共施設を必要としていない市民が9割を超えている状況がうかがえます。
- ・一方で、「施設のことをよく知らない」が第2位となっている施設が多く、特に「コミュニティセンター・文化センター」等の市民活動の場として機能する施設が2割以上となっており、施設でできることやイベント情報等が伝わっていないため、市民ニーズが埋もれている可能性もあります。

Q2-4 各施設を利用していない理由〔複数回答〕

（単位：％）

	1位	2位	3位	※無回答は順位から除く							
	利用する用事がない	施設のことをよく知らない	近くに施設がない	利用料が高い	（建物）が古い（時代のニーズに合わない）	使いたい曜日や時間帯は混んでいる	仕事や学校等で施設を利用する時間がない	魅力のあるサービスやイベントがない	他の民間施設等を利用している	利用方法（予約や申込みの方法）がわからない	無回答
1 コミュニティセンター・文化センター(554)	87.9	24.0	4.9	0.9	0.0	1.1	9.6	2.7	0.7	7.6	1.4
2 ビナレッジ・ピナスポ（市民活動センター）(629)	73.0	32.1	13.2	1.6	0.3	2.4	10.3	2.2	2.2	11.3	2.5
3 図書館(372)	70.4	7.5	19.1	1.1	0.3	4.6	16.1	2.4	2.7	6.7	3.0
4 文化会館(608)	89.6	14.8	5.4	0.3	0.0	0.3	5.8	4.4	0.3	4.9	2.1
5 市民ギャラリー(782)	83.6	29.7	4.3	0.4	0.1	0.1	3.8	3.3	0.5	6.0	2.2
6 体育館(678)	85.4	12.8	7.5	1.2	0.3	1.6	6.9	1.2	1.0	7.5	2.5
7 プール(680)	82.5	10.1	7.4	1.3	1.0	2.1	7.1	1.3	3.4	6.6	1.9
8 野球場(793)	95.6	5.3	3.4	0.6	0.1	0.4	3.5	0.8	0.5	3.4	2.1
9 競技場(782)	94.8	6.1	4.0	0.5	0.0	0.1	3.2	0.4	0.1	3.2	2.2
10 テニスコート(777)	92.5	6.8	3.9	0.9	0.0	1.3	3.6	0.6	0.6	5.4	2.1
11 医療センター(696)	81.5	25.3	5.3	0.4	0.1	0.3	2.2	0.6	3.6	7.2	2.0
12 こどもセンター(715)	95.0	12.7	3.4	0.3	0.0	0.0	1.7	0.8	0.1	2.5	2.8
13 総合福祉会館(767)	89.4	23.3	3.1	0.3	0.1	0.0	2.2	1.4	0.3	4.3	2.6
14 高齢者生きがい会館(504)	89.3	20.2	5.8	0.4	0.0	0.0	2.2	1.2	0.0	5.2	3.4
15 中央公園地下駐車場(684)	82.0	7.7	1.5	8.5	0.4	0.4	1.2	0.4	14.3	2.3	2.6
16 駅前輪場(684)	90.2	6.9	2.9	2.5	0.0	0.6	1.0	0.4	5.0	3.2	3.4

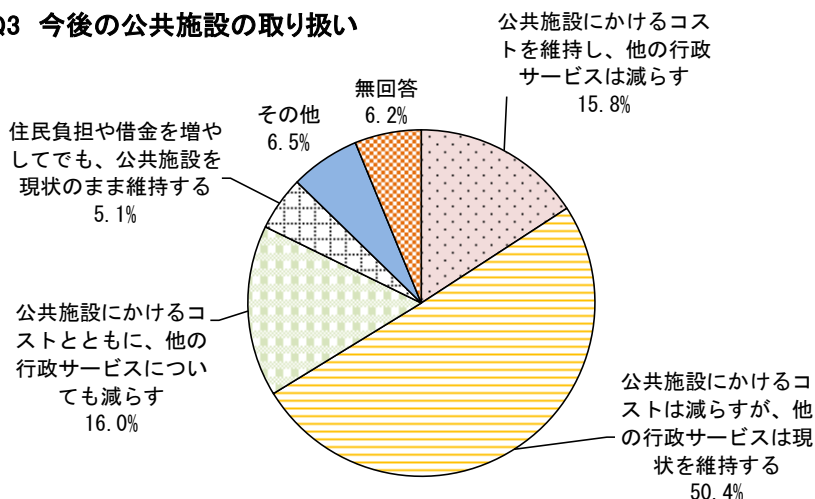
3. 今後の公共施設のあり方

Q3 海老名市における公共施設の状況を踏まえて、今後の公共施設の取り扱いはどのようにすべきと考えますか。

【全体の回答傾向】

- ・今後の公共施設の取り扱いについては、「公共施設にかかるコストは減らすが、他の行政サービスは現状を維持する」(50.4%)が最も多く、次いで「公共施設にかかるコストとともに、他の行政サービスについても減らす」(16.0%)となっており、6割弱が“公共施設にかかるコストを減らす”方向性の回答を選択しています。
- ・その他の回答では、「公共施設にかかるコストを維持し、他の行政サービスは減らす」が15.8%となっていますが、「住民負担や借金を増やしてでも、公共施設を現状のまま維持する」については5.1%にとどまり、今後の取り扱いとして支持されていません。

Q3 今後の公共施設の取り扱い

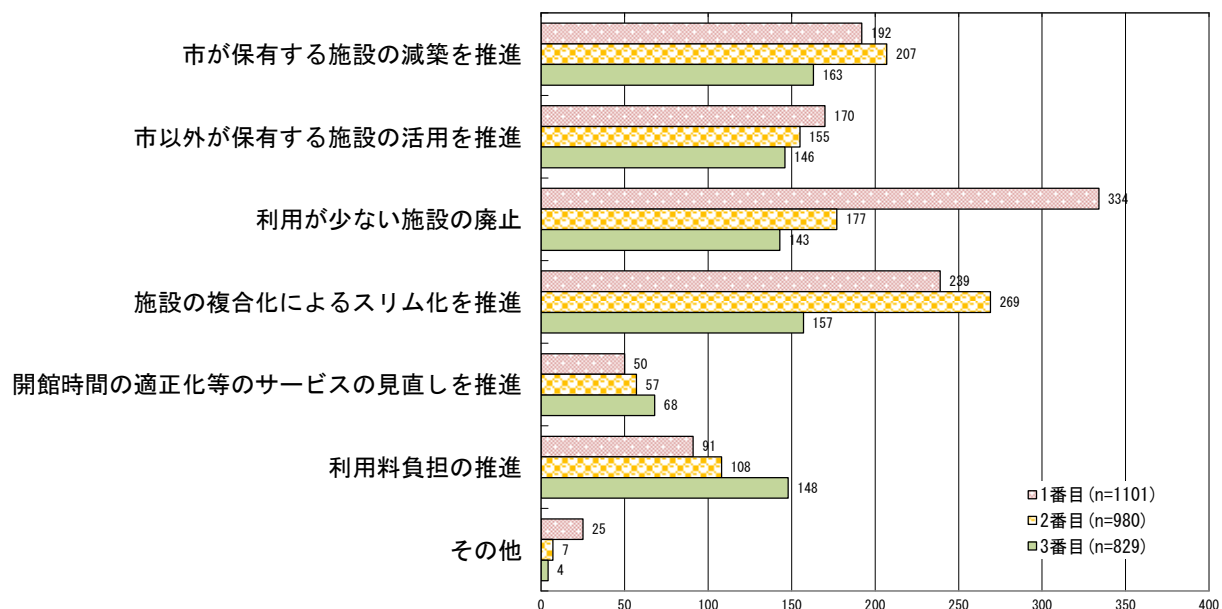


Q4 公共施設にかかるコストを減らす方法として、以下のような方法が考えられますが、どれが望ましいと考えますか。(複数回答。最も望ましいと考える方法から順番に最大3つまで)

【全体の回答傾向】

- ・ 公共施設にかかるコスト削減方法については、「利用が少ない施設の廃止」が最も多く選ばれています。
- ・ 次いで、選択の順番に関わらず、「施設の複合化によるスリム化を推進」、「市が保有する施設の減築を推進」との回答が多く、施設規模の縮小を図る方法が選ばれています。その中で、「市以外が保有する施設の活用を推進」との回答が多く民間等の活用を求める声も多くなっています。

Q4 公共施設にかかるコスト削減方法



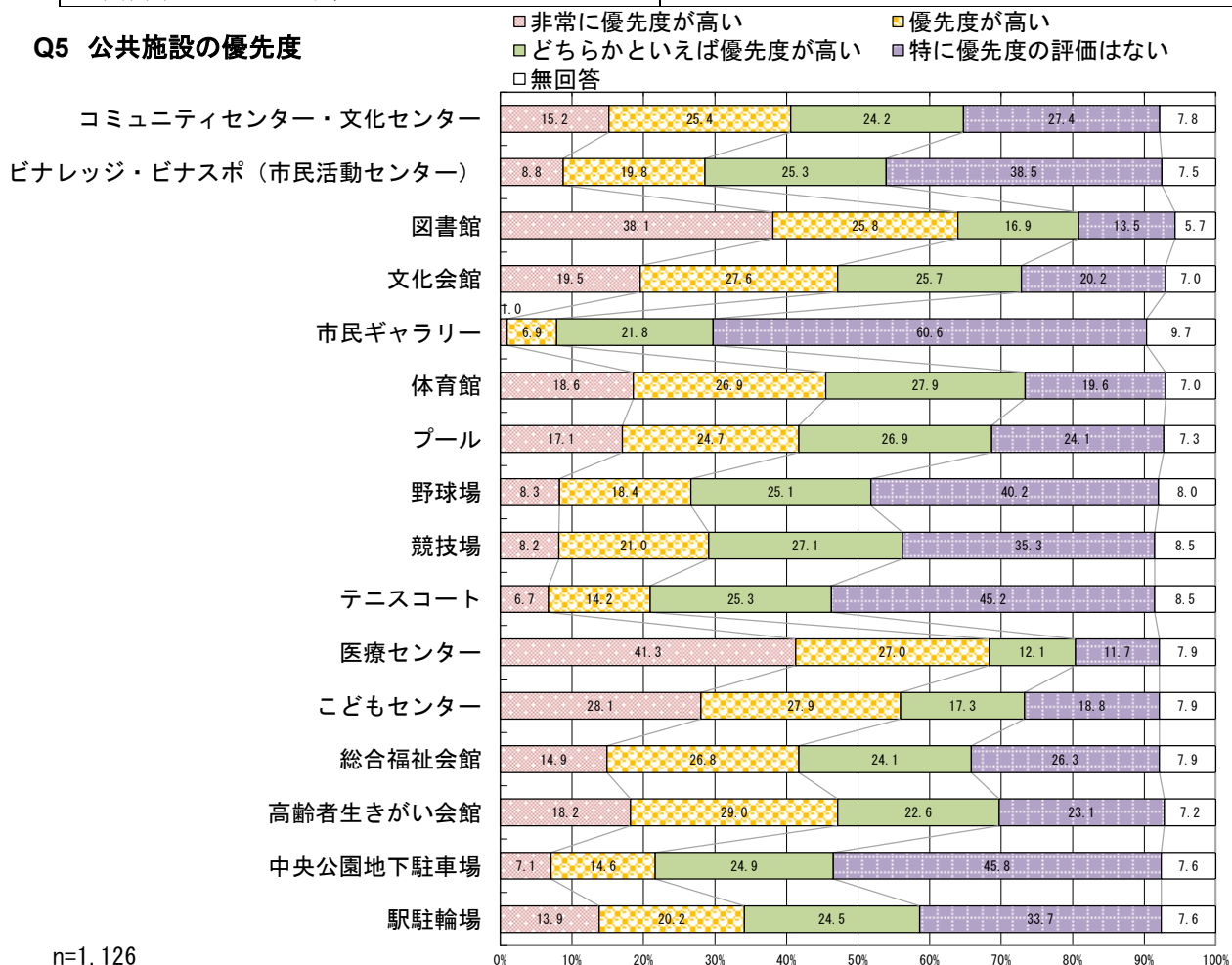
Q5 財政的な余裕がなくなっていく中で、今後は、大規模改修や更新（建替）を行う施設の優先度をつけていくことが重要となってきます。そこで、現在、対象を限定せずに利用されている公共施設について、あなたの考える優先度（必要性）をお答えください。

【全体の回答傾向】

- ・公共施設の優先度に関する回答の傾向を見ると、無回答を除く回答者の中で、“優先度が高い”（「非常に優先度が高い」「優先度が高い」「どちらかといえば優先度が高い」の合計）の割合が過半数を超えている施設が全体的に多くなっています。
- ・その中で、「図書館」、「医療センター」が約8割を超えており、反対に「市民ギャラリー」は約3割となっています。

“優先度が高い”との回答が多い施設	“優先度が高い”との回答が少ない施設
<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティセンター、文化センター ・図書館 ・文化会館 ・体育館 ・プール ・医療センター ・こどもセンター ・総合福祉会館 ・高齢者生きがい会館 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビナレッジ（市民活動センター） ・市民ギャラリー ・野球場 ・競技場 ・テニスコート ・中央公園地下駐車場 ・駅駐輪場

Q5 公共施設の優先度



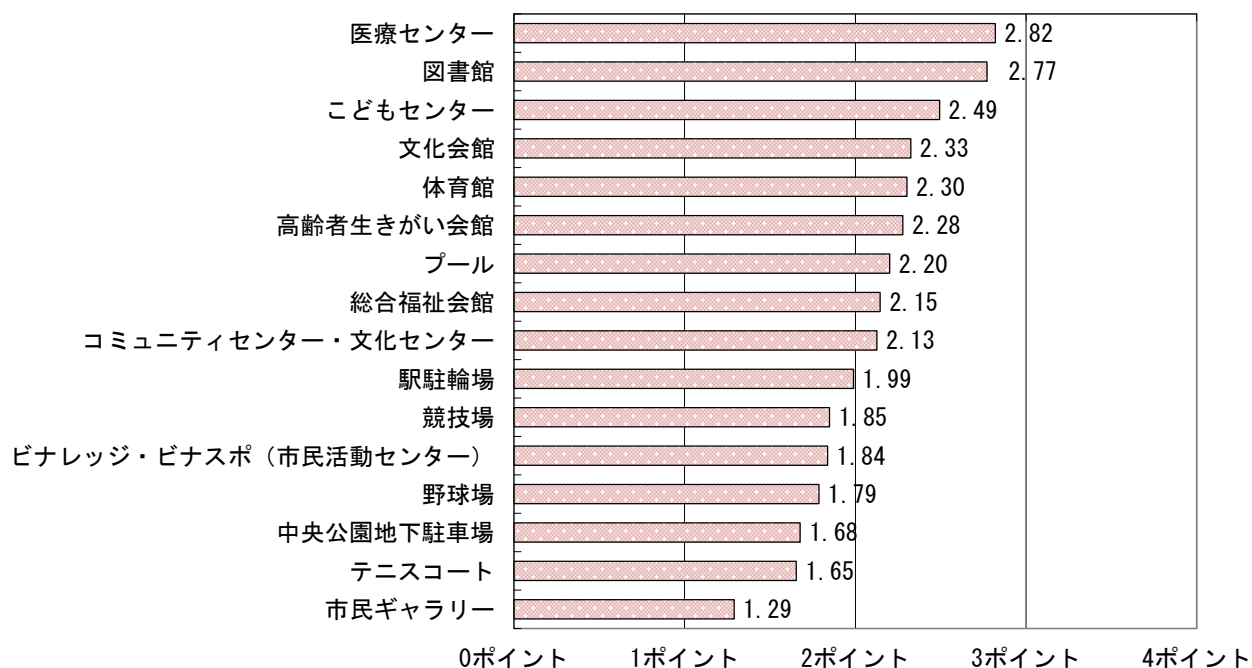
n=1,126

【参考：優先度のランキング】

- ・各選択肢について、「非常に優先度が高い」を4ポイント、「優先度が高い」を3ポイント、「どちらかというと優先度が高い」を2ポイント、「特に優先度の評価はない」を1ポイントとして総合ポイントを算出して優先度のランキングを行いました。
- ・総合ポイントを見ると、「医療センター」が第1位、「図書館」が第2位となっており、市民生活の安心を支える健康や教養に関する施設が最も優先度が高くなっています。以下、市民の子育てや趣味に関する「こどもセンター」、「文化会館」が続いています。

Q5 公共施設の優先度[加重平均]

n=1,126



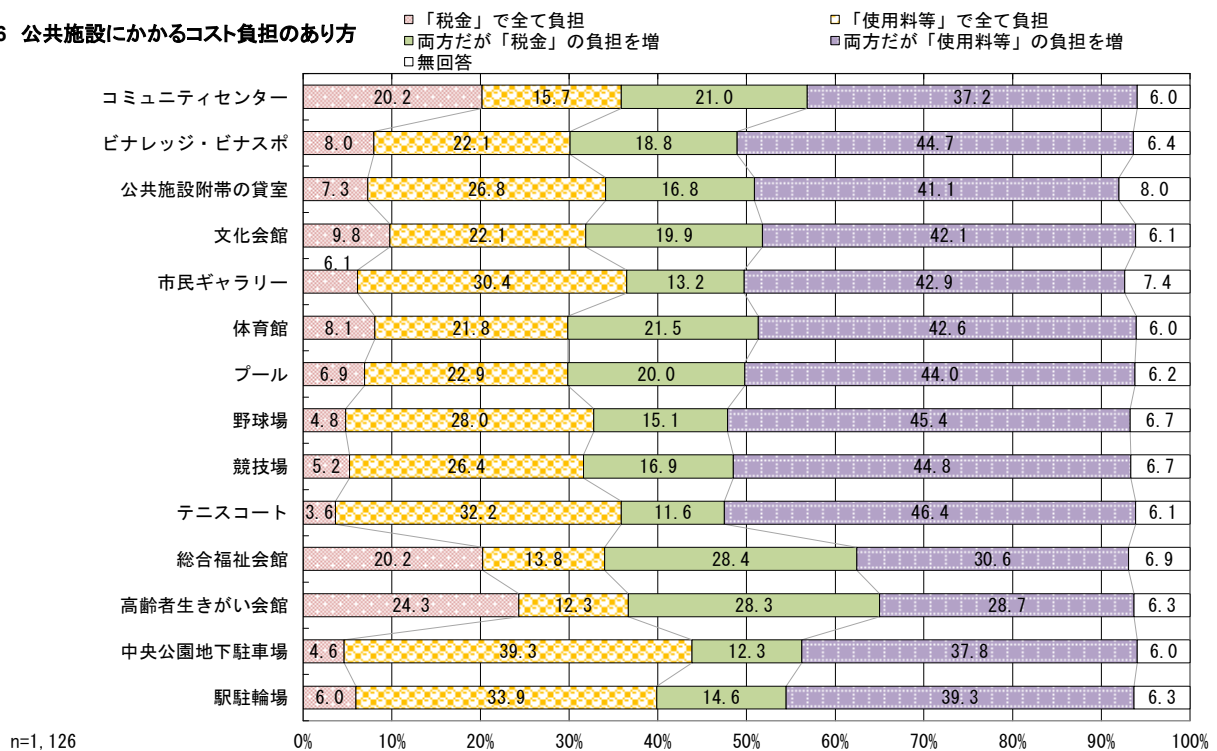
Q6 市の施設に係るコスト負担のあり方について、どのような方法が望ましいと考えますか。

【全体の回答傾向】

・ 公共施設にかかるコスト負担のあり方については、「税金による負担に重点を置く」施設（「税金」で全て負担」と「両方だが「税金」の負担を増やす」の合計）と「使用料等による負担に重点を置く」施設（「使用料等」で全て負担」と「両方だが「使用料等」の負担を増やす」の合計）の大きく二つに分類されます。一覧は以下のとおりです。

“税金による負担に重点を置く”施設	“使用料等による負担に重点を置く”施設
<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合福祉会館 ・ 高齢者生きがい会館 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティセンター ・ ビナレッジ・ビナスポ ・ 公共施設附帯の貸室 ・ 文化会館 ・ 市民ギャラリー ・ 体育館 ・ プール ・ 野球場 ・ 競技場 ・ テニスコート ・ 中央公園地下駐車場 ・ 駅前輪場

Q6 公共施設にかかるコスト負担のあり方



7. 施設の複合化についてお聞きします

Q7-1 将来費用を抑制する再編手法として、複数の既存施設（サービス）を一つの建物に集約して管理運営を効率化するとともに、施設のスリム化を図る複合化という手法があります。そこで、あなたの考える施設の複合化案を2つ作成してください。

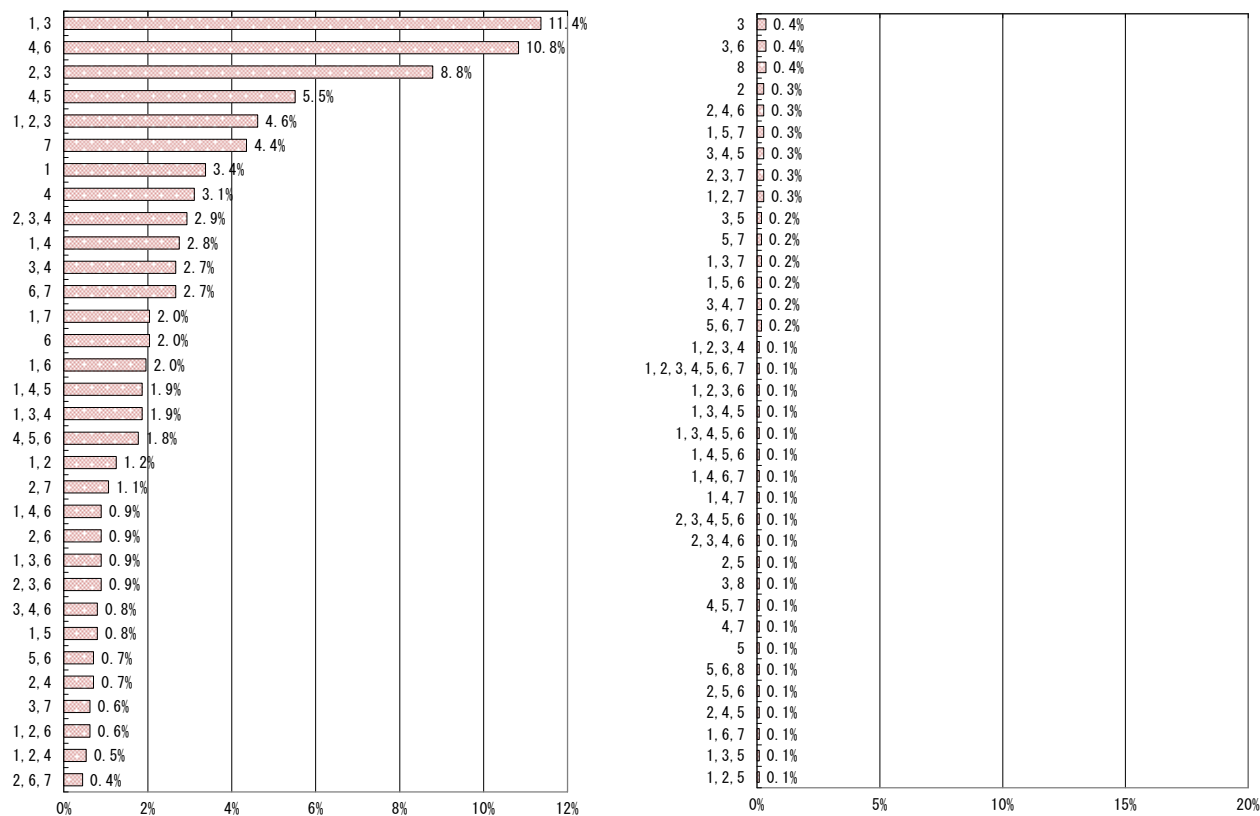
【全体の回答傾向】

- ・施設の複合化案1の組み合わせとして最も多かったのが、「分類」の「地域コミュニティー」と「文化スポーツ」の複合化案で11.4%、次いで「保健医療福祉」と「行政系」で10.8%、「図書館」と「文化スポーツ」の8.8%の順になっています。

	分類	施設名
1	地域コミュニティー	コミュニティセンター、ビナレッジ・ビナスポ
2	図書館	図書館
3	文化スポーツ	文化会館、スポーツ施設
4	保健医療福祉	医療センター、総合福祉会館
5	高齢者生きがい会館	高齢者生きがい会館
6	行政系	市庁舎、こどもセンター
7	学校教育	小学校、中学校
8	その他	その他

Q7-1.複合化案1の組み合わせ

n=1,126、無回答除く

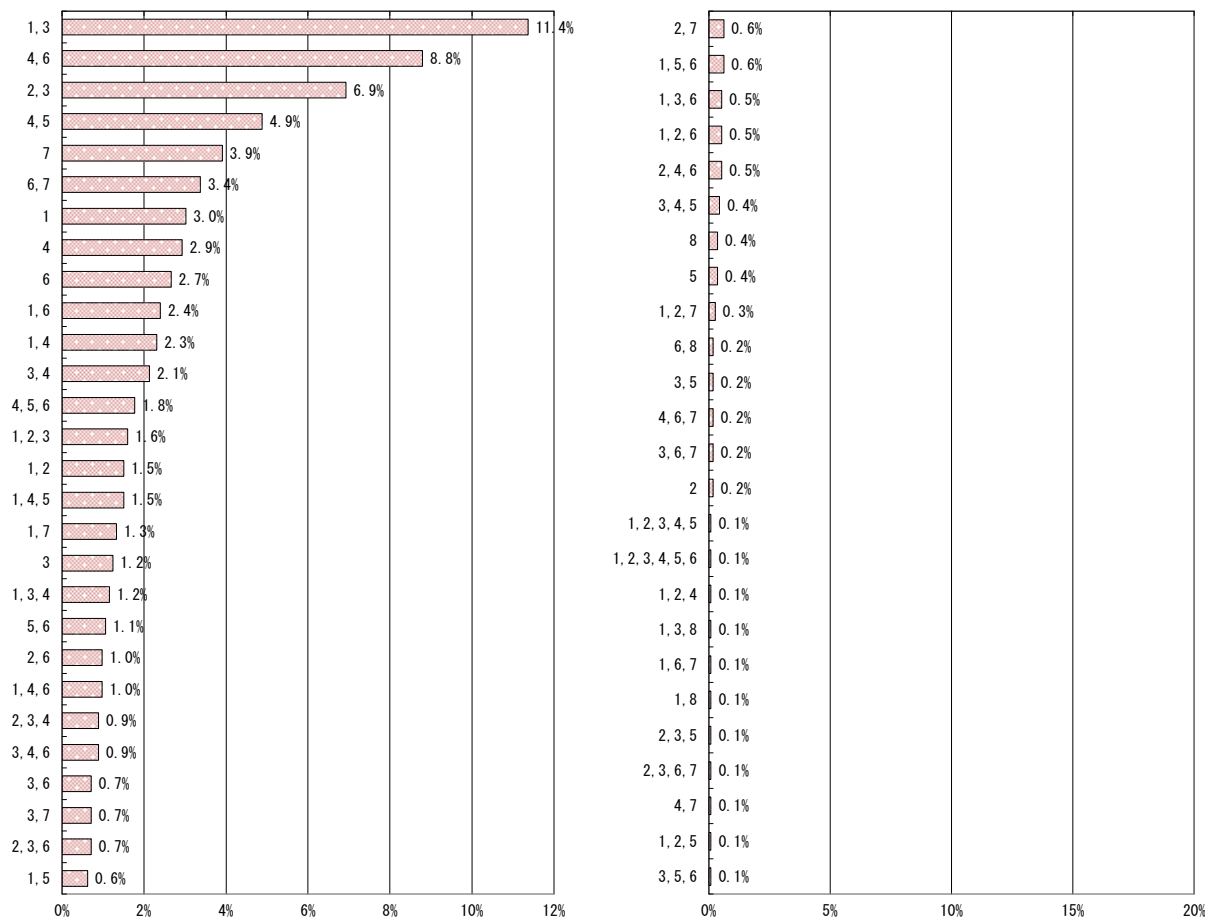


【全体の回答傾向】

- ・施設の複合化案2として最も多かったのが、「分類」の「地域コミュニティ」と「文化スポーツ」の複合化案で11.4%、次いで「保健医療福祉」と「行政系」で8.8%、「図書館」と「文化スポーツ」の6.9%の順になっています。

	分類	施設名
1	地域コミュニティ	コミュニティセンター、ビナレッジ・ビナスポ
2	図書館	図書館
3	文化スポーツ	文化会館、スポーツ施設
4	保健医療福祉	医療センター、総合福祉会館
5	高齢者生きがい会館	高齢者生きがい会館
6	行政系	市庁舎、子どもセンター
7	学校教育	小学校、中学校
8	その他	その他

Q7-1.複合化案2の組み合わせ n=1,126、無回答除く



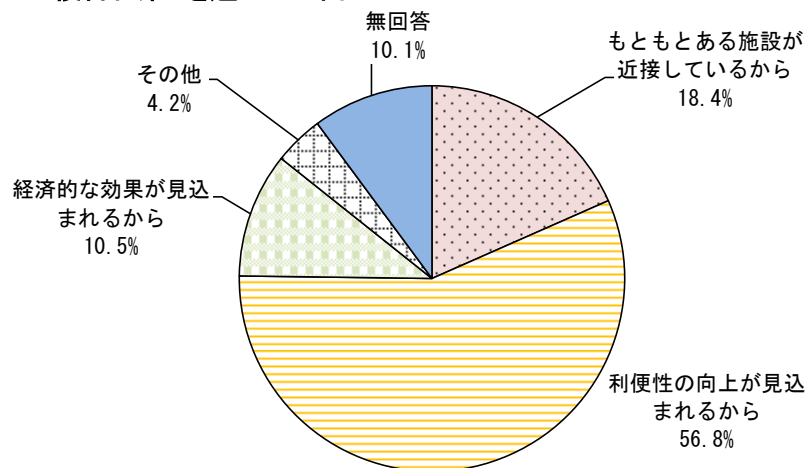
Q7-2 複合化案1を選んだ理由として、あなたの考えに最も近いもの。

【全体の回答傾向】

- ・施設の複合化案1を選んだ理由として、「利便性の向上が見込まれるから」(56.8%)が最も多く、次いで「もともとある施設が近接しているから」(18.4%)となっており、「経済的な効果が見込まれるから」(10.5%)と“経済的な効果”よりも、概ね4分の3が“近接している施設をまとめ、利便性の向上を図る”方向性の回答を選択しています。

Q7-2 複合化案1を選んだ理由

n=1,126



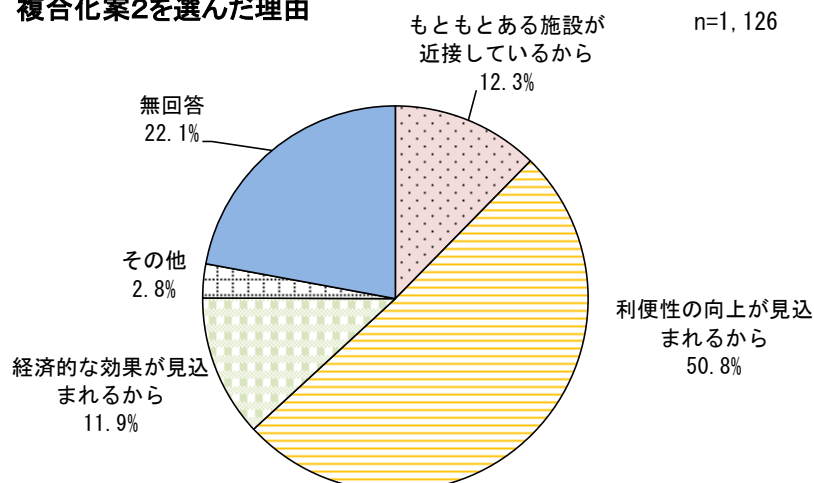
Q7-3 複合化案2を選んだ理由として、あなたの考えに最も近いもの。

【全体の回答傾向】

- ・施設の複合化案2を選んだ理由として、「利便性の向上が見込まれるから」(50.8%)が最も多く、次いで「もともとある施設が近接しているから」(12.3%)となっており、「経済的な効果が見込まれるから」(11.9%)となっており、複合化案1と同じく、“経済的な効果”よりも、“近接している施設をまとめ、利便性の向上を図る”方向性の回答を選択しています。

Q7-3 複合化案2を選んだ理由

n=1,126



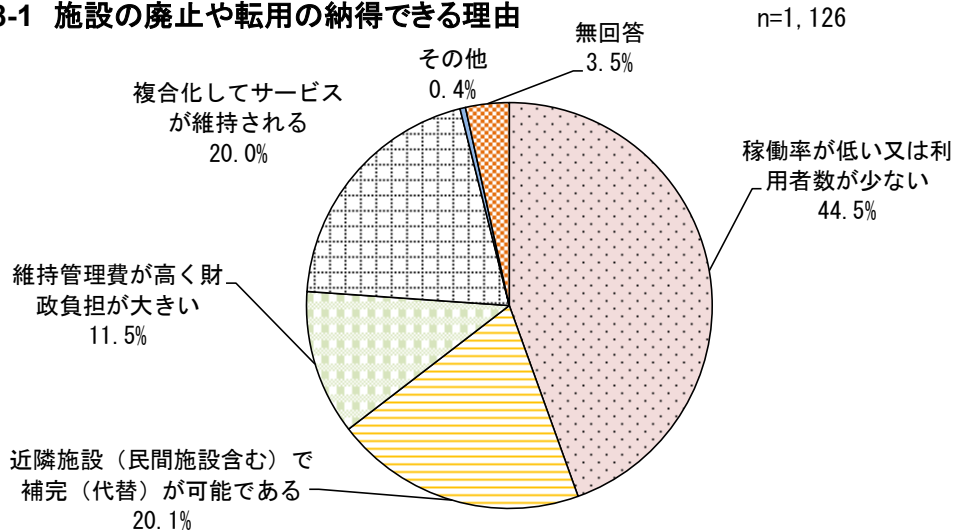
8. 施設の廃止についてお聞きします

Q8-1 各地域・時代によるニーズの変化や将来的な財源の確保等の様々な社会情勢に対応するために現在ある公共施設（サービス）が廃止や別の用途へ転用される場合には、どのような理由があれば納得できると思いますか。

【全体の回答傾向】

- ・施設の廃止や転用の納得できる理由については、「稼働率が低い又は利用者数が少ない」（44.5%）が最も多く、次いで「近隣施設（民間施設含む）で補完（代替）が可能である」（20.1%）、「複合化してサービスが維持される」（20.0%）となっています。

Q8-1 施設の廃止や転用の納得できる理由



9. 公共施設からみた、海老名市に住み続けたいと思える要素についてお聞きします。

Q9-1 財政状況等の課題はありますが、今後も質の高い市民サービスを提供していくにあたり、あなたが求めるサービス内容や傾向を把握したいため、具体的にどのような公共施設(サービス)があなたにとって必要かお答えください。

(あなたが使いたい、あってほしいサービス複数回答)

【全体の回答傾向】

- ・使いたい、あってほしいサービスとして、「図書館」(61.3%)が最も多く、次いで「高齢者のための施設」(40.9%)、「子供のための施設(児童館など)」(40.0%)、「子育て支援施設」(38.8%)となっており、「図書館」を除くと子育てや福祉関係の回答が多い傾向にあります。

Q9-1 使いたい、あってほしいサービス

n=1,126

